

園だより

ちえきぼう 智慧希望

希望を持ち、
楽しく暮らそう。

今月の予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食	
				長	中	少		
2	月		-日					
3	火	行事前半日保育	半日	0				
4	水	参観日	半日					
5	木	おやおや講座	-日			0		
6	金		-日	0		0		
9	月		-日					
10	火	授与写真撮影	-日	0		0		
11	水	3月生れのお誕生会	半日					
12	木	卒園式予行練習	-日			0		
13	金		-日			0	0	
16	月	行事前半日保育	-日					
17	火	卒園式	半日	年中・年少は休園				
18	水	進級組クラス発表・教材配布	半日					
19	木	終業式	半日					
21	土	同窓会(6年生)	春休み					

【修了証書授与写真】

10日(火)

卒園式当日に撮影できない修了証書授与の個人写真を一人ずつ撮影いたします。よほど体調が悪い以外は、なるべく欠席なさないよう、お願いいたします。

【卒園式】

17日(火)

卒園式は、会場(本堂)の都合で、年中・年少組はお休みです。代表園児が参加しますので、全員出席扱いとなります。

【3月の保育料】

3月は卒園・終業となりますので、3月分の保育料引き落としがスムーズに行くように、10日までに銀行口座へのご入金をお願いいたします。

雑木林 de 共育

3月、卒園・終業の月になってしまいました。この一年間、幼稚園に対してご理解をいただき、たくさんのご協力をありがとうございました。

先日、年長さんが、念願の雑木林にかけました。天気予報が心配され、「雨だったらどうするの?」と先生方に聞くと、少しぐらいの雨だったら、是非連れて行ってあげたいと思っています、との答えでした。この言葉をとても嬉しく思いました。



先月号でも書いたとおり、年長の先生方は市原の雑木林に下見に出かけました。でも、その日も小雨模様。私はしぶしぶ出かけました。私は、晴れ上がった青空の下で雑木林の素晴らしい景色を見たり、木登りしたり、葉っぱ探しをしたりというのを思い描いていました。

ネイチャーランドに着いた先生方は、案の定、肩をすぼめて寒そうにしていますが、雑木林に足を踏み入ると、次第に垂れ下がったツルにぶら下がったり、ツルを伝って木登りしたり、倒木を平均台のようにしたり・・・と、まるで子どもになったように嬉々とした姿に変わりました。私も嬉しくなって、木苺の連なる小道からいしのししの通る獣道や、竹林、ピオトープになりそうな湿地帯、人知れず咲き誇る山つつじのある場所、たらの芽が出る場所などを案内してしまいました。(本当は自分たちで探さないと意味がないのに・・・)

人は、心から嬉しいとか心から楽しいという気持ちを、何をしなくとも相手に伝える素晴らしい能力があると思います。子どもならなおさらです。そこに子育ての楽しさや嬉しさがあると思います。

では喜ばいいのか、楽しかったらいいのかということ、「心から」という「感動」を伴っているかどうかだと思います。そして、一過性ではないこと、一生心に残るかどうかが、自分の子どもの頃のことを思い出して、大人になっても心に残っていることってあるでしょう、それです。

小雨の雑木林を体験して心から楽しいと思った先生方だからこそ、少しぐらいの雨でも子どもたちを連れて行ってあげたい、雑木林の楽しさを味わってもらいたいと胸を張ったのでした。これこそ共育、「雑木林de共育」でした。

(2月の誕生会の話より)



今月の保育

学年	単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	も う	・大切に作ったお茶や、お茶会を思い出し、実際におもてなしをする。 ・一緒に遊ぶ中で、卒園してからも“ずっと友だち”“仲間”であることを思い合い、心のつながりを感じる。	「ちゃ、ちゃ、ちゃ、お茶会を開こう!」 「忘れないよ!また、遊ぼうね!」	きちんとしたお茶会では、場所をわきまえつつ、自分たちで作った和菓子を味わいました。雨のネイチャーランドでは、大人の想像を超えた数々の遊びを展開していました。これらの様々な体験は、これからの学校生活などいかなる時にも、役立つ姿だと確信しました。信じて励ましましょう。
		・一年を振り返ることで、自分の成長や友だちとのつながりを感じ、喜びを味わう。 ・身の回りの整理、整頓をしながら、進級の気持ちを新たにします。	「ずっと仲よし、フレッ!フレッ!ニンニンパーティー」 「感謝の気持ちで、ピッカピカ!」	子どもたちは、お互いのことがいろいろとわかるようになり、友だちと遊ぶのがとても楽しい時期です。“みんなでやると楽しいし、いろいろなことができる”という実感をたくさん抱きつつあります。子ども一人ひとりの育ちを認めてあげることで、進級に対しての安心感を持つことでしよう。
年少組	進 級	・いろいろな活動に自信を持って取り組むことで、年長組になる喜びを味わう。	「年長ぐみさん、ありがとう!」 「おへやもこころも、ぴっかぴか!」	“友だちが好き”の思いが育まれ、友だちの様子や表情を見て、その気持ちに気づいたり気にかけてあげることが出来るようになっていきます。大人には「まだ幼いから・・・」と思えても、子どもなりにこれまでの経験から工夫し、自分たちで遊びを進めていくようになります。そういう姿を認めると、安心してさらに遊びを広げます。

【教職員の動静】

◆退職

福田 静子先生

当園に30年近くの永きにわたって奉職され、幼児教育に大きく貢献されました。お疲れ様でした。

房安 美紀先生

果樹園に嫁ぐご縁にめぐり合いました。ネイチャーランドの畑の活動が役に立つでしょう。

古山 千華先生

遠距離通勤で体調不良になり、自宅周辺で子どもたちにかかわるお仕事につく予定だそうです。



【教職員の動静】

◇結婚

寺下 愛美先生 → 伊藤 愛美先生へ

2月5日にめでたく入籍をいたしました。幸せな新婚生活を送っています。

◇新任

市川 亜依さん

小林 万理菜さん

いずれも千葉経済大学短期大学部こども学科卒業です。二人とも穴川花園幼稚園の卒業生で、現役の先生方の素晴らしい教え子です。どうぞよろしくをお願いいたします。

